

冬山登山の警告

「あなどるな！自然の力、冬の山」

平成13年12月1日

山岳遭難対策中央協議会

毎年、冬山登山における遭難事故が後をたたず、特に年末、年始には、遭難事故が集中して発生しています。昨年も不十分な装備や無理な計画による遭難が多発し、中でも転・滑落が目立ちました。

また、ここ数年、悪天候や大雪のため救助活動が困難な孤立遭難も頻発しています。悪天候の場合、ヘリコプターは出動できず、救助隊の活動も非常に困難になります。

特に冬山は、悪天候の連続、急激な気象の変化、大雪、雪崩など厳しい自然条件下にあり、たとえ優れた経験や技術、知識を有していても、天候の急変が遭難事故に結びつくことを肝に銘じておく必要があります。

さらに、日ごろから文部科学省登山研修所、(社)日本山岳協会及び各都道府県山岳連盟等の開催する冬山登山のための研修会、講習会等に参加し、冬山に必要な知識や技能を身に付けるよう心がけるとともに、冬山経験の豊かな指導力あるリーダーのもとで、別記の注意事項を参照し、万全の準備を整えて登ることが重要です。

なお、遭難事故による家族や学校・職場、さらには広く社会に及ぼす影響を考え、知識や経験、技術の未熟な登山者はこの時期の安易な登山は慎んでください。

冬山登山は気象状況の把握から

「大雪時や大雪後の“雪崩”に注意」

雪崩は、「全層雪崩」と、「表層雪崩」に大別されますが、ほとんどの山岳雪崩遭難は表層雪崩によって起きています。表層雪崩は、雪煙や風圧を伴い、時速200kmを越えることもあります。

「表層雪崩」が発生するのは、積雪の表面に滑りやすい薄い層が形成された場合です。この薄い層が形成される

のは、夜間晴れて放射冷却により積雪の表面で雪の結晶が成長し「しもざらめ雪」になった場合や、積雪の表面が溶けて「ぬれざらめ雪」になった場合などです。そして、冬型の気圧配置となつてまとまった雪がその上に積もることにより、表層雪崩が非常に発生しやすくなります。

年によって山岳部に降る雪の量は大きく違います。例年雪が少ない場所だからといって油断することなく、登山計画を立てるときから気象情報を利用することはもちろん、山に出かけてからも更に新しい気象情報を利用して、天気推移に細心の注意を払うことが大切です。また、悪天が予想されたら

撤退する勇気も必要です。

図は、平成13年1月4日15時の天気図で、この冬は、年末に発達した低気圧が通過したあと、2日から6日にかけて強い冬型の気圧配置が続き大雪になりました。この大雪により4日17時頃、黒部峡谷で雪崩が発生し3名の死者行方不明者がでました。



気象情報の種類と内容(山岳を直接の対象としたものではありません。)

1. 天気予報：あさってまでの天気、風、降水確率、最高・最低気温など(毎日3回)
2. 週間天気予報：あすから7日間の天気、降水確率、最高・最低気温など (毎日1回)
3. 注意報・警報：災害の起こるおそれがあるとき、現象、程度、時間帯など(随時)
(これらはラジオなどで放送されるほか、電話177で知ることができます。最新の情報を！)

気象通報：NHKラジオ第2放送(9時10分～、16時～、22時～) / ラジオ短波(5時20分～)

遭難事故が急増しています!!

もう一度点検 計画と対応力

冬の自然は厳しく変化します。冬山経験豊富な信頼できるリーダーと、事故に対応できる力を持ったパーティーであることが必要です。

- 1 エスケーブルート(万一の時の逃げ道)は考えていますか。
- 2 気象通報に注意をしていますか。(ラジオなど)
- 3 救急法のための医薬装備は整えましたか。(三角布など)
- 4 雪崩に対する心と装備の準備は整えましたか。(ビーコンなど)
- 5 緊急時の連絡手段は用意しましたか。(携帯電話・無線など)
- 6 山岳保険の加入は済みましたか。

登山計画書はあなたの生命を左右するザイルです。

平成13年の冬山では、遭難した98パーティのうち59パーティ(60%)が、登山計画書の提出なし。

●登山計画書の提出先

- 家庭、職場、学校等。
- 山域の登山指導センターや案内所、入山口の専門ポスト等。
- 登山地域の都道府県警察本部地域課等(北海道を除いて県庁所在地にあります)及び地元の警察署、交番、駐在所。

登山計画書の提出

- 万一の遭難事故が早くわかり、救助活動がスムーズに行われます。
- 無駄な搜索救助活動を省くことができます。
- 自分や家族が負担しなければならない搜索救助費用が少なくて済みます。
- 家族や関係者を安心させることができます。

これまでも登山計画書を提出したおかげで、命拾いしたという事例が多くあります。登山計画書を提出することは、あなたの生命を左右するザイルであると考えて必ず実行しましょう。

遭難事故防止の第一歩は登山計画書の作成と提出です。

冬 山 に お け る 山 岳 情 報 の 提 供

山 岳	気 象 情 報	山 岳 情 報
主 な 山 域 の 冬 山 情 報	各地域の地方気象台にお問い合わせ下さい。	警察庁生活安全局地域課 インターネット http://www.npa.jp/chiiki1/index.htm
利 尻 岳 大 雪 山 系 十 勝 岳	稚内地方気象台(0162)23—2678 旭川 " (0166)22—6937	北海道警察 旭川方面本部地域課 (0166)35—0110 内3543
八 甲 田 山 系	青森 " (017)741—7411	青森県警察本部地域課 (017)723—4211 内3575
八 幡 平	盛岡 " (019)622—7868 秋田 " (018)823—8291	岩手県警察本部地域課 (019)653—0110 内3583 秋田県警察本部地域課 (018)863—1111 内3592
鳥 海 山 系	山形 " (023)622—2262 秋田 " (018)823 - 8291	山形県酒田警察署地域課 (0234)23—0110 内290
蔵 王 山 系	仙台管区気象台(022)297—8104 山形地方気象台(023)622—2262	宮城県警察本部地域課 (022)221—7171内3593 インターネット http://www.police.pref.miyagi.jp/ 山形県警察本部地域課 (023)626—0110 内3573 インターネット http://www.pref.yamagata.jp/kenkei/index.html
飯 豊 連 峰	山形 " (023)622—2262 新潟 " (025)244—1701 福島 " (024)534—2162	山形県警察本部地域課 (023)626—0110 内3573 インターネット http://www.pref.yamagata.jp/kenkei/index.html 山形県小国警察署 (0238)62—0110 インターネット http://www.ic-net.or.jp/home/iide/ 新潟県警察本部地域課 (025)285—0110 内3585 インターネット http://www.pref.niigata.jp/police/ 福島県警察本部地域課 (024)522—2151 内2878
巻 機 山 連 峰 苗 場 山	新潟 " (025)244—1701 前橋 " (027)231—2237 長野 " (026)232—2034	新潟県警察本部地域課 (025)285—0110 内3585 インターネット http://www.pref.niigata.jp/police/
谷 川 岳 草 津 白 根 山	新潟 " (025)244—1701 前橋 " (027)231—2237 長野 " (026)232—2034	群馬県警察本部地域課 (027)243—0110 内3563 インターネット http://www.police.pref.gunma.jp/
丹 沢 山 系	横浜 " (045)621—1991	神奈川県警察本部地域総務課 (045)211—1212 内3532
南 アル プ ス 富 士 山	甲府 " (055)222—2347 静岡 " (054)286—3411 長野 " (026)232—2034	山梨県警察本部地域課 (055)235—2121 内711—537 インターネット http://www.pref.yamanashi.jp/police/ 静岡県警察本部地域課 (054)271—0110 内3573 インターネット http://www.wbs.ne.jp/cmt/kenkei/ 静岡県御殿場警察署 (0550)84—0110 内444 インターネット http://www.wbs.ne.jp/cmt/police/
北 アル プ ス 中央アルプス 南 アル プ ス 八 ケ 岳	長野 " (026)232—2034 岐阜 " (058)271—4107	長野県警察本部地域課 (026)235—3611(直通) インターネット http://www.avis.ne.jp/~police/ FAX広報サービス (026)232—3110
北 アル プ ス	富山 " (076)432—2311 岐阜 " (058)271—4107	富山県警察本部地域課 (076)441—2211 内3583 インターネット http://www.pref.toyama.jp/KENKEI/INDEX.HTM 岐阜県警察本部地域課 (058)271—2424 内3584 インターネット http://www.pref.gifu.jp/POLICE/index.htm
大 山	鳥取 " (0857)29—1311	鳥取県警察本部地域課 (0857)23—0111 内3577
石 鎚 山 系	松山 " (089)941—0012	愛媛県警察本部地域課 (089)934—0110 内3573 インターネット http://www.dokidoki.ne.jp/home1/ehime110/

冬 山 装 備 チ ェ ッ ク リ ス ト

山行目的に合った装備を持参しよう。

(○は必ず持参のもの。 は状況によって持参のもの。)

品 名	品 名	品 名
○ズボン	○救急医薬品	○コンロ
○シャツ	○レスキューシート	○燃料・予備燃料
○アンダーウェア上下	○非常食	○コップ・炊事用具
○靴下・予備靴下	○ヘッドランプ	○ラジオ
○手袋・予備手袋	○予備電池・電球	○天気図用紙
○帽子・防寒帽(目出帽)	○ライター・マッチ	○トランシーバー
○防寒衣(セーター・羽毛服)	○テルモス・水筒	○携帯電話
○防風防水パーカ	○食器類	○修理用具一式
○防風防水オーバーパンツ	○ナイフ	○ツェルト
○オーバーミトン	○ホイッスル	○ロープ
○ロングスパッツ	○タオル	○大型スノーシャベル
○登山靴	○ローソク	○スノーソー
○ゴーグル	○ロールペーパー	○カメラ
○サングラス	○装備整理袋	
○シュラフ	○ポリ袋	サブザック
○シュラフカバー	○時計	テント一式
○マット	○高度計	ハーネス
○ルックザック	○磁石	カラビナ
○ピッケル	○地図・ルート図	スリング各種
○アイゼン	○計画書	各種登攀用具
○わかんじき	○筆記具	伸縮式ストック
○雪崩ビーコン	○身分証明書	ランタン
○携帯ゾンデ棒	○緊急連絡票	油性太字ペン
○スノーシャベル	○健康保険証	標識布・竹

“ 万 全 で す か ? 装 備 体 調 心 の 準 備 ”

平成13年の冬山における遭難発生状況
(平成12年12月1日～平成13年2月28日)

区分 年別	発 生 件 数	遭 難 者 数 (人)					
		死 者	行方不明	重 傷	軽 傷	無事救出	合 計
平 成 13 年	98	29	1	18	35	92	175
平 成 12 年	70	19	1	20	7	63	110
増 減	28	10	0	- 2	28	29	65

過去5年間の冬山における遭難の態様別発生状況(件数)

転・滑落	道 迷 い	転 倒	疲労・病気	天候急変	雪 崩	そ の 他	合 計
142(40%)	82(22%)	41(11%)	46(12%)	31(8%)	16(4%)	20(5%)	378

()内は構成比

冬山に関する研修会、講習会等の問合せ先

- 文部科学省登山研修所 TEL(076)482—1211(代)
FAX(076)481—1534
- 社団法人日本山岳協会 TEL(03)3481—2396
FAX(03)3481—2395

日付	行動予定	期間 / ~ /	予備日	日
(概 念 図)				
荒天、非常時対策、エスケープルート、その他				
食糧1人当り.....食分		非常食1人当り.....食分		予備食.....食分
共同装備 燃料.....l、無線(無・有.....台 CB26,976 ^{MHZ} CBその他 ^{MHZ} ハム.....)				